

## 令和6年度いじめ防止プログラム点検・評価

A 目的を達成した B おおむね達成した C 達成できなかった  
\* 計画外の取り組みを実施した

月	実態把握等	実施結果	評価	各教科、特別活動等	実施結果	評価	学生会活動	実施結果	評価	情報モラル関連	実施結果	評価
4	こころと体の健康調査(1年生)	1年生のみ4月に実施。紙媒体で実施した。学生相談支援室の対応が必要と判断した学生、または担任から問い合わせのあった学生について情報確認を行った。	A 目的を達成した	心の健康管理(特活)	1年生のみ4月に実施。他の学年は5月に実施した。紙媒体で実施した。実施項目にいじめに関する項目を追加した。学生相談支援室の対応が必要と判断した学生、または担任から問い合わせのあった学生について情報確認を行った。	A 目的を達成した				SNS等利用に関する講習会(1年生)	特別活動の時間を利用して、宮崎県警察本部生活安全部サイバー戦略局サイバー企画課から講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと(いじめ、名誉棄損、誹謗中傷等)について指導いただいた。	A 目的を達成した
	(通年実施)学生相談Formsの設置	令和2年度から引き続き、Formsによる学生相談を通年で実施した。窓口や電話での相談の申し出に抵抗のある学生から、メールでの依頼が複数件あった。また、どこへ質問・相談してもいいか分からず、困りごとを抱えている学生からも連絡があり、従来の制度では拾えなかった学生の声も挿すことができた。	* 計画外の取り組みを実施した	SNS等利用に関する講習会(1年生)	特別活動の時間をを利用して、宮崎県警察本部生活安全部サイバー戦略局サイバー企画課から講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと(いじめ、名誉棄損、誹謗中傷等)について指導いただいた。	A 目的を達成した						
5	こころと体の健康調査(2年生以上)	2年生以上は5月に紙媒体にて実施。2年生以上のアンケートには、いじめに関する項目を追加し、実施した。以下の対応を行なった。回答内容は学生相談支援室をすべて確認し、懸念のある学生について35名に個別にコンタクトをとり、うち31名にカウンセリングを実施した。	A 目的を達成した	SNS等利用に関する講習会(2年生、3年生)	特別活動の時間をを利用して、都城警察署及びBTV株式会社から講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと(いじめ、名譽棄損、誹謗中傷等)について指導いただいた。	A 目的を達成した	クラスマッチ	全学年同時開催でクラスマッチを実施した。当日は学年や学科を超えて競技を行い、学生間の繋がりを深めることができた。	A 目的を達成した	SNS等利用に関する講習会(2年生、3年生)	特別活動の時間をを利用して、宮崎県警察本部、都城警察署及びBTV株式会社から講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと(いじめ、名譽棄損、誹謗中傷等)について指導いただいた。	A 目的を達成した
6				ゲートキーパー養成講座(2年生)	都城市障がい福祉課より講師を招いて、通常は大人向けに実施しているゲートキーパー(悩んでいる人に気づいて声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげて、見守る心のサポートのこと)養成講座を、学生用にアレンジして実施した(今年度より)。学生同士でペアを組み、ロールプレイを行うなど、理論だけではなく実際の活動も併せて行った。	* 計画外の取り組みを実施した	学生の自主的な活動計画	上記のクラスマッチ学年別分散開催や後期の文化祭において実施可能なプログラムの立案(いじめ防止週間の設定及び啓発活動)を進めていき、最終的には学生会役員を中心に両方とも実施することができた。	A 目的を達成した			
7	O-Uテスト	1年生(休学者を除く165名)を対象に7月10日にhyper-QU(アンケート)を実施した。結果については11月に各学級担任へ配付した(結果の学生へのフィードバックについては各学級担任に一任)。なお、結果の一部については学生相談支援室長に共有した。	A 目的を達成した	学生向けいじめ、ピアソポーラー等に関する研修	特定非営利活動法人エントルハートプロジェクト理事の小森美登里氏を講師に招き、いじめ防止に関する講演会を実施した。後援会では講師から、優しい心で人とのつながり伝えあつほしいとのメッセージがあった。	A 目的を達成した	【宮崎県】いじめ防止週間(いのちの教育週間)	11月～12月にかけて実施。				
	学生向けいじめに関するアンケート調査	設問内容の精査に時間を要し、実施に至らなかった。	C 達成できなかった									
8	保護者へのアンケート	家庭でのスマートフォン・PCの取扱いについてルールを定めているか、学生相談支援室を認知しているか、子どもの様子で最近変わったことはないか等について、本科全学生の保護者を対象にアンケートを実施した。回答内容から、気になる学生について、担任等の関係者と情報共有を行い、学生及び保護者にコンタクトを取り、必要に応じてSC-SSWIによるカウンセリングを実施するが、コンタクトを取った件数は1件で、カウンセリングは行わなかった。	A 目的を達成した	オープンキャンパスの実施	中学生、保護者等が来場のうえ、全学科の実験体験、学科説明、ロボコン、エコラン、プログラミング、デザイン、展示、入寮説明会等を見て回るツアーフormに加えて自由に見学できるフリー形式のハイブリッド形式で実施し、計782名の来場があった。来場した中学生は、本校への興味や関心が高まった様子であった。準備実施に際し、教職員と補助学生、あるいは学生間の交流も深まった。	A 目的を達成した						
9							【文部科学省】自殺予防週間	自殺対策基本法に規定する自殺予防週間(9/10～9/16)の啓発資料(文部科学省作成、文部科学大臣からのメッセージ・各種相談窓口情報)を学生へTeamsで周知した。	A 目的を達成した			

## 令和6年度いじめ防止プログラム点検・評価

A 目的を達成した B おおむね達成した C 達成できなかった  
\* 計画外の取り組みを実施した

月	教育相談・支援	実施結果	評価	教職員研修	実施結果	評価	寮生活	実施結果	評価	PDCA(委員会の開催)	実施結果	評価		
4	新入学生の相談	新入生対象の合理的配慮申請をもとに、対象学生及び保護者と面談をし、合理的配慮について関係教職員に周知した。入学前健康調査により、教育的配慮が必要な学生を抽出し、入学式後に学生及び保護者との面談並びに関係教員との顔合わせを実施した。(面談等を行った人数4名)	A 目的を達成した				新寮生歓迎会	4月24日(水)20時から、本校第1体育館で、新入寮生計64名(1年生:男子45名、女子18名、留学生3年生女子1名)の歓迎会が開催された。 寮役員全員による自己紹介や、高千穂寮周辺の「私が好きなお店」の紹介があり、新入寮生から、一人ずつ自己紹介があった。中にはパフォーマンスを披露する新入寮生もあり、会場を盛り上げてくれた。 新入寮生たちは、本会をとおして、何事も段取り・準備を行い、模範行動を示し、下級生へのお世話や場の仕切りと気遣いを行なう「良き伝統」も、上級生から感じ取れたようである。	A 目的を達成した					
	学校説明会・授業参観・学級懇談会(2~4年)	5月に実施した。					1年寮保護者懇談会	5月2日(木)寮食堂にて開催した。入学後生活を楽しめているか、食事をきちんと取れているか等のアンケート調査して、入学後の様子を保護者に伝える良い機会となっている。	A 目的を達成した					
5	健康相談	年度当初の身体測定時に、健康アンケートを実施した。	A 目的を達成した				寮祭	5月12日(日)に本校第1体育館及び体育館前駐車場において、寮祭を開催した。体育館では、バドミントンやダンス、コーラス飲み選手権等のステージイベントが開催され、体育館前駐車場では、スーパーボールサイズのヨーヨー釣りや輪投げ、ストラップアクションなどの屋台のほか、初の試みとして、キッチンカーの出店もあった。今年度は、数年ぶりに参加を認められた通学生も、ダンス等、ステージを大いに盛り上げてくれた。	A 目的を達成した	年間計画の確認	年度計画を確認するとともに、発生した事案についての情報共有及び対応手順の確認を行い、必要に応じて改善案を委員会で検討した。	A 目的を達成した		
	学校説明会・授業参観・学級懇談会(2~4年)	5月2日に開催し、285世帯の保護者等の参加があった。学校説明会では校長、副校長(教務主任・学生主任・専攻科長)及び学生相談支援室長がそれぞれ説明を行った。学生相談支援室長からは、学生相談支援室の概要(体制・相談内容・カウンセリング案内)及び合理的配慮等に関する説明があった。	A 目的を達成した				寮生総会	5月22日(水)に第2体育館で寮生総会を開催した。事前にFormsでアンケートを実施し、寮生から寄せられた困りごとや質問に対して、寮生会及び寮指導部から回答があった。	A 目的を達成した					
6	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	A 目的を達成した				寮マッチ	6月30日(日)バレーボールを実施し、熱戦が展開された。16チームを4チームずつ4グループに分けて予選リーグを行い、各グループリーグから勝ち上がった4チームによる決勝トーナメントはどの試合も白熱した試合で喝采や歓声も上がり大盛り上がった。学年性別を問わずたくさんの人と交流する機会となつた。	A 目的を達成した					
	授業担当者会議	前期中間試験終了後に、予定どおり実施した。(低学年生)授業担当者と担任間で、学生に係る授業受講状況等に関する情報共有を行い、以降の学生指導に繋げた。	A 目的を達成した											
7	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	A 目的を達成した	教職員向けいじめに關するセルフチェック	2月に実施予定		映画観賞会	20名程度の学生が参加し合宿施設において、7月12日(金)20時15分から、高千穂寮映画観賞会を開催した。	A 目的を達成した	中間評価と取り組みの改善	8月に実施した。			
8	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	A 目的を達成した											
	授業担当者会議	前期末試験終了後に、予定どおり実施した。(低学年生)授業担当者と担任間で、学生に係る授業受講状況等に関する情報共有を行い、以降の学生指導に繋げた。	A 目的を達成した							中間評価と取り組みの改善	学生間のいじめが疑われる案件について、今後の指針を決定するとともに、情報共有が必要な案件等がないかを確認した。	A 目的を達成した		
	1、2年生保護者個別面談	前期末試験終了後に成績不振者を対象に学級担任による保護者個別面談を24名に対して実施し、今後の学習における改善計画等について共有した。	A 目的を達成した											
9	1~2年生保護者個別面談	8月に実施した		FD研修	本校における学生の重大事案等を受け、教職員を対象に研修を実施し、重大事案を未然に防止すること目的として、メンタルサポートストローステップの児玉様及び都城市役所障がい福祉課の外山様を講師にお招きし、「ゲートキーパー(命の門番・自殺予防)養成講座」を開催した。	A 目的を達成した				中間評価と情報共有	11月に実施した。			

## 令和6年度いじめ防止プログラム点検・評価

A 目的を達成した B おおむね達成した C 達成できなかった  
\* 計画外の取り組みを実施した

月	実態把握等	実施結果	評価	各教科、特別活動等	実施結果	評価	学生会活動	実施結果	評価	情報モラル関連	実施結果	評価
10	学校適応感尺度調査	紙媒体で、全学生を対象に実施した。調査を行った学校生活等に関する因子は、「自己肯定感」、「進路目標」、「学習意欲」、「規則意識」、「友人関係」、「家族関係」、「ネット依存性」、「自殺親和性」、「居心地の良さ」、「課題・目的の存在」、「劣等感」、「部活」、「寮生活」、「研究活動」、「教員との関係」の15。 集計結果(レーダーチャート、自由記述)を担任へ共有し、気がかりな学生について担任が適宜面談を実施した。(※「自己肯定感」「自殺親和性」「研究活動」「教員との関係」の回答結果は担任には共有せず、学生相談支援室で管理。学生には、「担任に知らせない」と明示し、回答させているため)	A 目的を達成した									
11	学生向けいじめに関するアンケート調査	12月から1月にかけて実施した。		ゲートキーパー養成講座(1年生)	都城市障がい福祉課より講師を招いて、通常は大人向けに実施しているゲートキーパー(悩んでいる人に気づいて声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげて、見守る心のサポートのこと)養成講座を、学生用にアレンジして実施した(今年度より)。学生同士でペアを組み、ロールプレイを行うなど、理論だけではなく実際の活動も併せて行った。	* 計画外の取り組みを実施した	いじめ防止週間(体育競技会、高専祭)	いじめ防止週間は、11月30日(木)から12月5日(木)に設定した。期間中、学生会主催でいじめ防止川柳大会を実施し、12月11日(水)の学生総会において、学生が応募した川柳から選ばれた最優秀賞が発表された。学生が自ら考え企画する活動を、教職員が支援・協力することにより、学校全体でいじめを許さない意識を涵養し、いじめ防止に取り組むことができた(学内の、学生共用スペースに掲示)。	A 目的を達成した			
12	学生向けいじめに関するアンケート調査	全学生を対象に12月16日から1月6日までの期間、Formsにていじめに関するアンケート調査を実施し、523名の学生から回答を得た。なお、回答内容を受け、学生指導部が学生相談支援室と連携し17名の学生と面談を実施し、全て完了している。また、アンケートの結果については、「月開催のいじめ対策委員会にて報告済み。	B おおむね達成した				クラスマッチ	全学年同時開催でクラスマッチを実施した。当日は学年や学科を超えて競技を行い、学生間の繋がりを深めることができた。	A 目的を達成した			
1	こころと体の健康調査	紙媒体で1~4年生を対象に実施した。質問内容には、5月に実施した内容と同じで、いじめに関する項目を含めて調査。 学生相談支援室の対応が必要と判断した学生、または担任から問い合わせのあった学生について情報確認を行い、以降の指導方針等をカウンセラー等の専門家と協議し、必要に応じて、次年度の担任へ情報共有を行ふとした。また、回答内容から、必要と判断した学生について、学生相談支援室が13名に個別にコンタクトをとり、うち9名カウンセリングを実施した。	A 目的を達成した				【法務省】人権週間	11月に実施				
2												
3												

## 令和6年度いじめ防止プログラム点検・評価

A 目的を達成した B おおむね達成した C 達成できなかった  
\* 計画外の取り組みを実施した

月	教育相談・支援	実施結果	評価	教職員研修	実施結果	評価	寮生活	実施結果	評価	PDCA(委員会の開催)	実施結果	評価
10	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	A 目的を達成した									
11	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	A 目的を達成した	教職員向けいじめ等に関する研修	2月に実施予定		寮生総会 夜間ハイク 花火大会	11月6日(水)に第2体育館で寮生総会を開催した。事前にFormsでアンケートを実施し、寮生から寄せられた困りごとや質問に対して、寮生会及び寮指導部から回答があった。また、新寮生会役員の就任について承認がなされた。 大きな行事が続き開催できなかつた。 5月12日に開催された寮祭で天候不順により開催できなかつた花火大会を11月9日(土)に実施した。季節外れの花火ではあつたが、空気も澄んでいて静かな夜にさりめく花火を楽しむことができた。	A 目的を達成した C 達成できなかつた * 計画外の取り組みを実施した	中間評価と取り組みの改善	学生間のいじめ案件について、今後の指導方針を決定するとともに、情報共有が必要な案件等がないかを確認した。	A 目的を達成した
12	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	A 目的を達成した		12/17～1/7の期間において、教員相互による「校内公開授業」を実施した。他の教員の授業を参観し、アンケートを記入することにより、参観した教員及び授業を公開した教員双方にとって、授業における板書の仕方、話し方、授業方法の工夫等、気づきを得られる有意義な機会となつた。		クリスマス会 講演会	12月18日(水)親睦を図るため素敵なクリスマス会を企画しようと抽選会・ピンゴ大会・じゃんけん大会を企画しました。参加を募った結果、200名もの参加があり充実した景品を取り揃えて盛大に行われました。 令和5年度中の令和6年度計画提出時までは例年同様実施予定だったが、行事が多かつたため最終的な令和6年度の計画に入れず実施に至らなかつた。	* 計画外の取り組みを実施した C 達成できなかつた	いじめ防止等の取組に関する評価・改善の公表	1月に実施した。	
1	個別面談	学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を、オンラインを含めて実施した。	A 目的を達成した	教職員向けいじめ等に関するセルフチェック FD活動	3月に実施した。 令和6年10月に機構本部が開催した「第21回国立高専学生支援担当教職員研修」に参考した教員が中心となって実施し、参加教員3～4人で1つのグループになり、ワークショップ及びテーマに類似した体験談の共有を行つた。		映画観賞会 寮マッチ	令和5年度中の令和6年度計画提出時までは例年同様実施予定だったが、行事が多かつたため最終的な令和6年度の計画に入れず実施に至らなかつた。 令和5年度中の令和6年度計画提出時までは例年同様実施予定だったが、行事が多かつたため最終的な令和6年度の計画に入れず実施に至らなかつた。	C 達成できなかつた C 達成できなかつた	中間評価と情報共有 いじめ防止等の取組に関する評価・改善の公表	2月に実施した。 ホームページにおいて、いじめ防止等の取組について、令和5年度の取組等を評価し、令和7年1月までに実施した取組において改善のための措置を講じたことを公表した。	A 目的を達成した
2	個別面談	学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を、オンラインを含めて実施した。	A 目的を達成した	FD研修	well-beingの視点から、5年間の高専教育でどのような学生を育成すべきか考え、またその初年次としての1年間をどのように捉えるべきかということについて、講演・事例紹介やグループワークから学んだ内容を共有することを目的として、本校教員の松川兼大先生及び美坂里紗を講師として、「well-beingの視点から初年次教育を考える」を開催した。					中間評価と情報共有	情報共有が必要な案件等がないかを確認した。	A 目的を達成した
3				教職員向けいじめ等に関するセルフチェック 教職員向けいじめ等に関する研修 新担任学習会	本校いじめ防止等基本計画に基づくセルフチェックリストを、3月7日～3月14日期間に全教職員を対象に実施した。教職員の意識を高め、理解を促した。 3月24日～3月31日までの期間で、全教職員を対象としたいじめ防止等研修(動画視聴)を実施した。教職員の意識を高め、理解を促した。 スクールカウンセラーによる新担任への研修会(本校学生の傾向や特性のある学生との関わり方等についてのレクチャー)を実施する予定。	A 目的を達成した A 目的を達成した 3月実施予定			外部評価組織等による検証	いじめ防止等に向けた取り組みについて、九州地区の高専間で相互監査を行えないか調整中。	3月実施予定	
									次年度計画の作成、評価及び改善の公表	いじめ対策委員会において、今年度の振り返り・次年度計画の策定を行う予定。	3月実施予定	